

大学生協オリジナルセットアップテキスト

FUJITSU LIFEBOOK

FMV UHシリーズ

※Microsoft Officeについては購入された大学生協店舗からの案内をご確認ください。

箱を開ける前に必ずお読み下さい

全体作業所要時間は最低で1時間程度です。(1~5)
※Microsoft Officeを設定しない場合の参考時間です。



| 目次 | |
|------------------------|-------|
| 1: 無料パソコン電話サポート | (p4) |
| 2: セットアップの準備 | (p5) |
| 3: Windowsの設定 | (p10) |
| 4: Windows Defenderの設定 | (p26) |
| 5: Windows Updateの設定 | (p30) |
| 6: 活用編(ATOK設定含む) | (p32) |

このパソコンは大学生協オリジナルモデルです。
一般に販売されているパソコンとは異なる点がありますので
このセットアップテキストを使用して設定して下さい。
本セットアップテキストは大学生協が発行しております。

パソコンをご使用になるまでの流れ

1. 無料パソコン電話サポート (4ページ)

今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽にご相談下さい。

2. セットアップの準備 (5ページ)

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使用することができません。初めて電源を入れるときには、セットアップという作業が必要となります。このセットアップテキストでは、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

3. Windowsの設定 (10ページ)

約10分

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行います。

4. Windows Defenderの設定 (26ページ) 約1分

Windows 10にはWindows Defenderがあります。ウィルス対策として「有効」に設定されていないと、最新の脅威を防ぐことができません。有効になっているかを必ず確認してください。

——ここからインターネットの接続が必要です——

5. Windows Update (32ページ)

約30分

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。

パソコンを正しく快適に使うために気をつけよう！

振動 衝撃に 注意！



パソコンは衝撃や振動に弱いものです。持ち運び時にはケースに入れるようにしましょう。それでも自転車のカゴに入れるのは禁物です。振動でハードディスクやボディが壊れる恐れがあります。また、満員電車の圧力で破損した例もあります。机からの落下も破損の原因になりますので注意しましょう。

置き忘れ、 盗難に 注意！



学内や電車の網棚、飲食店などへのパソコンの置き忘れが毎年発生しています。ちょっとトイレに行った隙に・・・というケースもあります。パソコンは高価な商品ですが、それ以上に個人情報などの大切なデータがたっぷり詰まっています。コンパクトで持ち去られやすいので、盗難などにも注意しましょう。

液晶画面の 取扱いに 注意！



液晶画面はガラスです。衝撃や強い圧力で破損します。例えば、PC本体をぶつける、画面を指で押す、キーボードの上にUSBメモリやペンなどを置いた状態でフタを閉じる、PCの液晶ディスプレイ側を持って本体を持ち上げるなどの取り扱いを行うと液晶画面パネルが破損します。掃除の際にも柔らかい布やクリーナーでやさしく拭き取るようにしましょう。

飲み物に 注意！



パソコンは電子機器なので、水にとっても弱いものです。部屋の中やカフェなどでうっかり飲み物をこぼしてしまうケースが意外に多いです。パソコンの操作中は出来るだけ近くに飲み物を置かないようにしましょう。また、ちょっとした水滴から守るためにも、キーボードカバーを使うという方法もあります。

※破損、水濡れ等はメーカー保証期間内でも有償修理になります。

1. 無料パソコン電話サポート

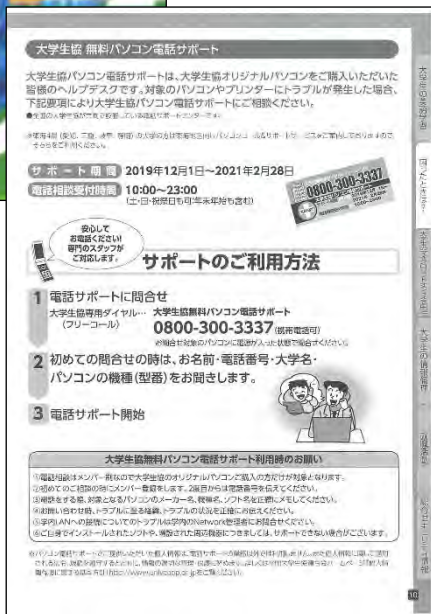
今回ご購入いただいたパソコンには、無料で問い合わせできる電話サポートがついています。困った事がありましたら、お気軽に「大学生協無料パソコン電話サポート」にご相談下さい。



サポートのご利用方法

下記電話番号にお電話下さい。

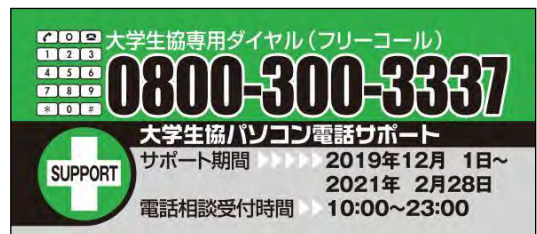
サポートのご利用方法については、同梱の「学生支援ポータルガイドブック」の「困ったときは？」に詳細が記載されてます。ご一読ください。



※初めのお問合せの際は、氏名・電話番号・大学名・PC型番(外箱や保証書に書かれています)をお聞きます。

※次回のお問合せからは電話番号のみお伝え下さい。

「大学生協専用ダイヤル」のシールを同梱しております。パソコン本体に貼ってご利用下さい。



サポート期間: 2022年2月28日まで

電話相談受付時間: 10:00～23:00

電話番号(フリーコール): 0800-300-3337

※「無料パソコン電話サポート」は、学生様がご自身でパソコンを使いこなせるように成長するための支援を目的としております。大変恐縮ですが、保護者様ではなく、学生様ご本人からお電話いただきますようお願いいたします。

※ご購入いただいたパソコンやプリンタ専用のサポートダイヤルです。他のパソコンのご質問は承れません。

※サポート期間終了後のご質問は直接メーカーまたは生協店舗にお問合せ下さい。

2. セットアップの準備

パソコンは他の電化製品と違い、電源を入れてすぐに使えるようになっていません。初めて電源を入れるときには、「セットアップ」という作業が必要となります。この「セットアップテキスト」では、初めての方にもわかりやすく解説していきます。

2-1. 箱を開けたらすぐに確認しましょう。

同梱物の一覧は付属品の「オリジナルモデルをお買い上げのお客様へ」内の『添付品について』に記載されていますので、それで確認して下さい。

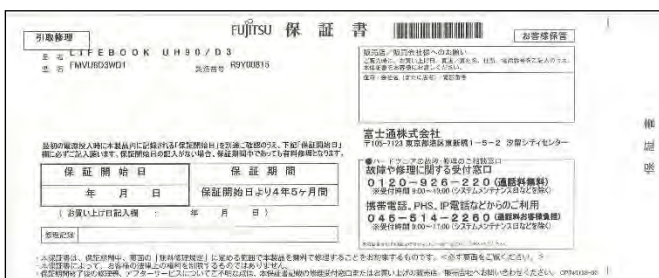
※同梱物が無い場合は、すぐに生協店舗へご連絡下さい。

このノートパソコンは4年5カ月保証となっています。箱の中にある袋内の「保証書」をご確認下さい。

今後パソコンの動作が[!]かしくなったり、パソコンが壊れて修理する際に必要なものもありますので、**付属品は全て大切に保管して下さい。**



特に下記の付属品を無くした場合は有償の修理になったり、同じものを購入するのに数万円かかります。



メーカー保証書
(箱の中の袋に入っています)

2-2.セットアップに必要な物を取り出して下さい。

【セットアップに必要な物】



□ACアダプタ



□電源ケーブル

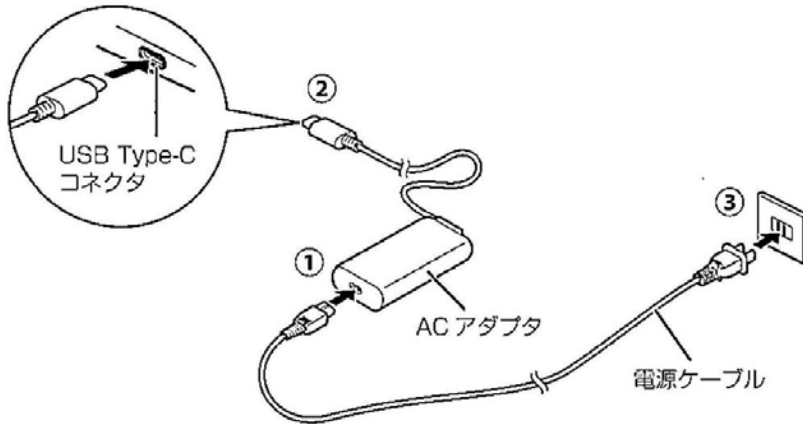


□変換アダプタ(HDMI⇒VGA)
※セットアップでは使用しません

注!意

紛失した場合、同じものを購入するのに数万円かかります。大切に保管して下さい。

2-3. 本体にACアダプタと電源ケーブルを接続します。



①、②、③の順番にしっかり接続し、ゆるんだり抜けたりしていないことを確認してください。
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

- 1 ACアダプタに電源ケーブルを接続します。
- 2 パソコン本体のDC-INコネクタに接続します。
- 3 電源プラグをコンセントに接続します。

【重要】

※電源を入れる前に必ず AC アダプタを取り付けてください。
セットアップ中にバッテリーがなくなると、電源が切れて Windows セットアップに失敗し、Windows が使えなくなる場合があります。

※セットアップ中は、電源に接続したままにしてください。



左図丸枠箇所の
◆□ バッテリー充電ランプが「オレンジ色に点灯」していること
□ バッテリー残量ランプが「白色に点灯」していることを確認して下さい。

2-4. セットアップの注意点

セットアップ中に下記画面など、説明にない画面が表示される場合がありますが、右上の × をクリックして画面を閉じて下さい。

(これらはセットアップが終わってから必要に応じて対応します)



パソコンを起動し、一定時間操作を行っていないと「省エネ」の為、液晶画面を自動的にOFFにする(スクリーンセーバーなどの)動作を行います。

セットアップ中に画面が暗くなったときはタッチパッドに触れると画面が戻ります。



タッチパッドに触れても復帰しない場合

タッチパッドに触れても画面が戻らずに本体の電源ランプが点滅している場合はスリープモードという状態になっています。

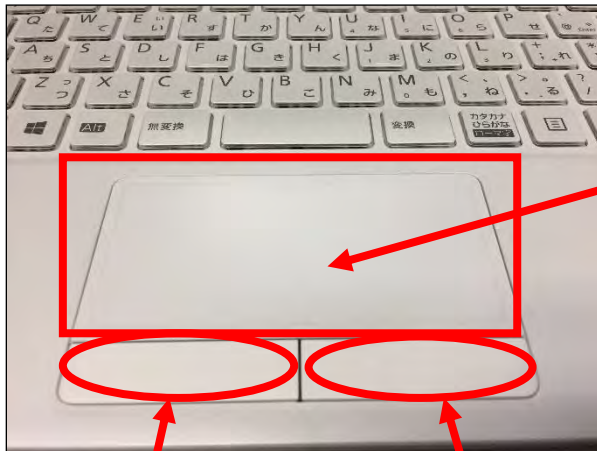
その場合は、電源ボタンを操作すると画面が元に戻ります。

覚えておいてください。

※異常状態が長く続くとき(10分以上)は電話サポートにお問い合わせください。

タッチ패드操作を覚えましょう！

ノートパソコンのタッチパッドを簡単に説明します。
タッチパッドが初めての方は一読しておいてください。



タッチエリア

タッチエリアに指1本を当てて動かすと画面上のマウスマウスカーソルを動かすことができます。



マウスマウスカーソル

基本操作としてはマウスマウスカーソルを動かして画面上のアイコンや文字、リンクに合わせ、**左クリックボタン**でクリックや**ダブルクリック**をします。

左クリックボタン

右クリックボタン

★クリックの種類

・クリック

⇒左クリックボタンを1回押すこと

・右クリック

⇒右クリックボタンを1回押すこと

・ダブルクリック

⇒左クリックボタンを2回続けて押すこと

・ドラッグ

⇒左クリックボタンを押しながらマウスマウスカーソルを動かすこと

※タッチエリアのタップ(指先で叩く)はクリックと同じ効果があります。
タッチエリアを2回タップすることで**ダブルクリック**と同じ効果があります。

最近の機種は(本機も)下図のように指2本で上下に動かすと画面スクロールができます。



※スマートフォンの様にピンチアウトやピンチインによる拡大縮小も可能です。
色々なシーンで試してみてください。

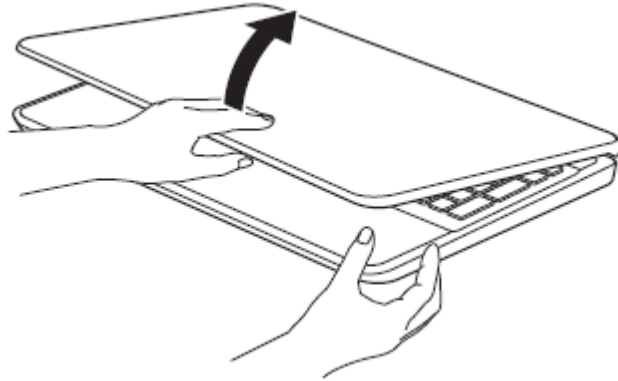
3. Windowsの設定 (所要時間 約10分)

初めて電源を入れたときにWindowsのセットアップが開始されます。
使用者ご本人の登録など、基本的な設定を行いましょよう。

Windowsのセットアップだけでも約10分ほど必要です。
電源を入れたらセットアップ終了まで電源コードを必ず接続して、電源を切らないで下さい。

【Windowsセットアップの開始】

- ①パソコン本体と液晶ディスプレイ上部中央の両方に手を添えて開きます。

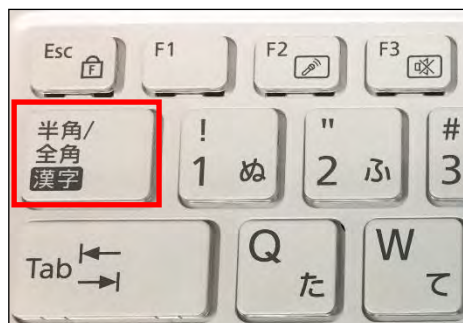


- ②パソコン本体の電源ボタンを押して、電源を入れます。



文字入力を覚えましょう！

※手順⑨より文字入力が必要となります。
文字入力不安な方はご覧ください。



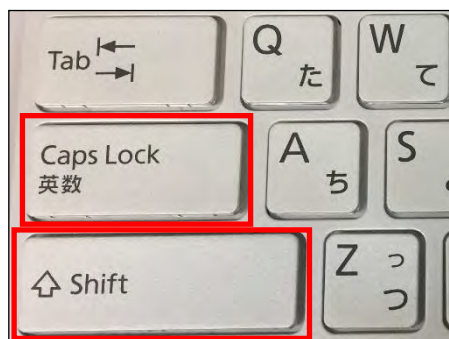
①半角/全角の切り替え方法

キーボード左上の【半角/全角】キーを押して切り替えることができます。

画面右下に表示されている言語バーを見ると、現在の入力の状態を確認できます。



「A」の場合は半角、「あ」の場合は全角になります。




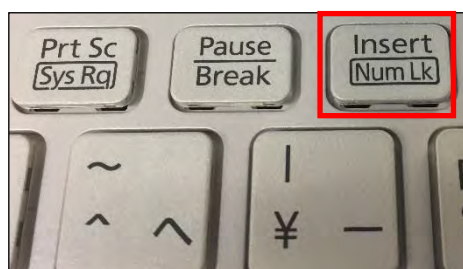
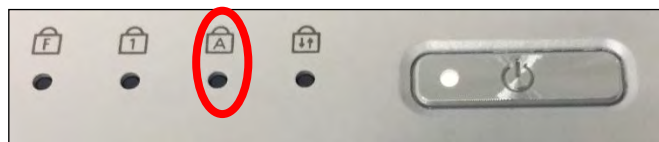
②大文字と小文字の入力方法

キーボードの【Shift】キーを押したまま、文字のキーを押すと大文字で入力ができます。

また【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に大文字で入力ができる設定に切り替えることができます。この機能をCapsLockと言います。

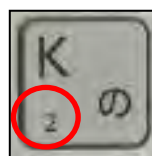
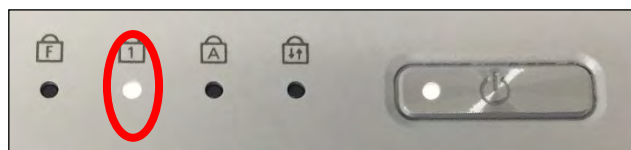
※もとに戻す場合はもう一度、【Shift】キーを押したまま【CapsLock】を押すと常に小文字が入力される設定に戻ります。

CapsLock機能が有効か無効については、キーボード右上の  のランプが点灯している場合が有効で、この状態では常に大文字で入力されます。




③NumLockキーについて

文字入力の際に「おはよう」と入力して「6はy64」など入力したキーの左下にある文字が入力されてしまう場合は、NumLock(ナンバーロック)が有効の状態です。その場合はキーボード上方にある【NumLk】キーと、左下の【Fn】を同時に押すと元に戻ります。



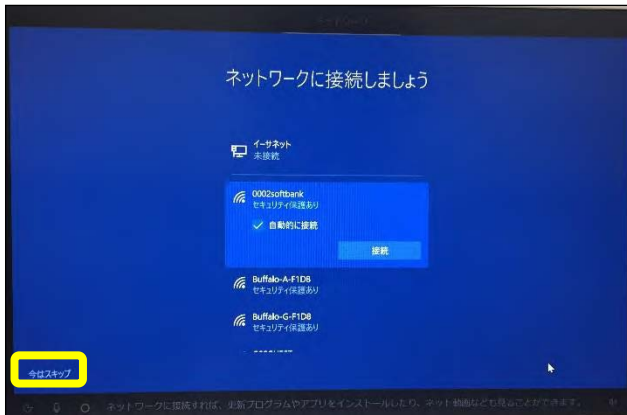
Kを押して2が入力される場合はNumLock状態です。

NumLock機能が有効か無効かについては、 のランプが点灯している場合は有効になっています。

その他便利なキーについては48ページを参照して下さい。

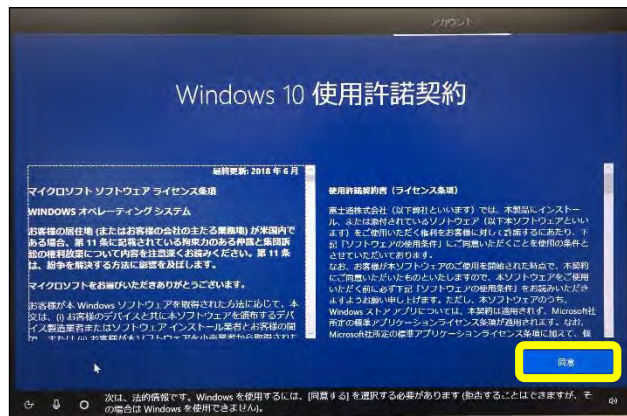
【Windowsセットアップ手順⑦～⑨】

⑦



「ネットワークに接続しましょう」と表示されますが、この段階でネットワークに接続すると、セットアップが失敗してしまうことがありますので、今回はOSセットアップ後にネットワークに接続します。ここでは【今はスキップ】をクリックします。

⑧

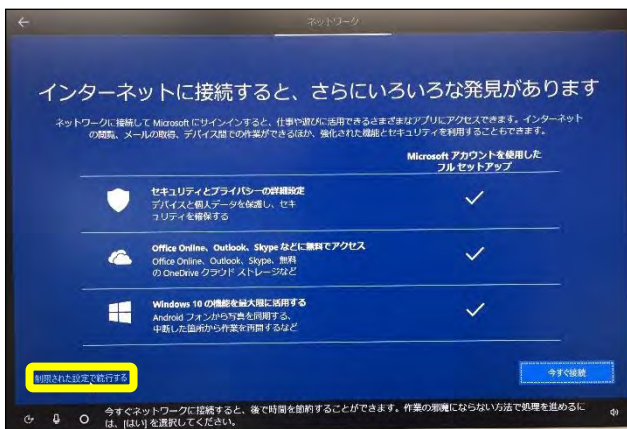


「Windows10使用許諾契約」と表示されます。

【同意】をクリックしなければ、セットアップを続けることができません。

【同意】をクリックします。

⑨



「インターネットに接続すると、さらにいろいろな発見があります」と表示されます。接続の設定はセットアップが完了した後に行いますので、ここでは【制限された設定で続行する】をクリックします。

<手順は14ページに続きます>

注意

- ・ユーザー一名にスペースは使えません。(スペースのほか漢字もアプリにより不具合が生じる場合がありますので、入力できますが推奨できません)
 - ・パスワードを忘れるとパソコンが使えなくなります。
- ※パスワードを忘れた場合、OSリカバリというパソコンの初期化が必要になります。リカバリをすると使用できるようになりますが、データは無くなります。
- ※パスワードは、一度設定した後で変更することも可能です。(21ページ)

【Windowsセットアップ手順⑩～⑬】

⑩

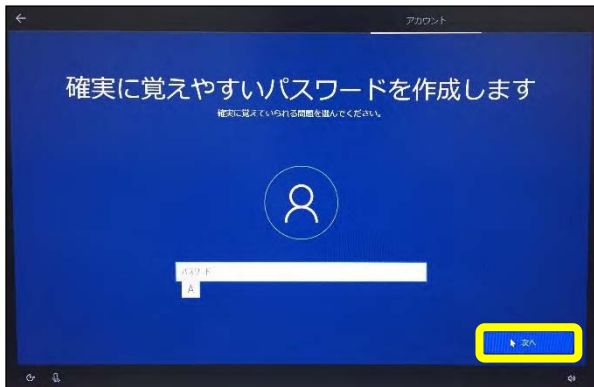


「このPCを使うのはだれですか?」と表示されます。

ユーザー名を、12文字以内の半角英数字(a～z、A～Z、0～9)でお好きな名前を入力してください。

入力できたら、【次へ】をクリックしてください。

⑪



「確実に覚えやすいパスワードを作成します」と表示されます。セットアップ中に、パスワードを忘れると、セットアップが継続できませんので、ここではパスワードを設定せずに、そのまま【次へ】をクリックします。パスワードは、セットアップ後に登録できます。(21ページ参照)

⑫



「アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う」と表示されます。

【はい】をクリックして、進めます。

⑬



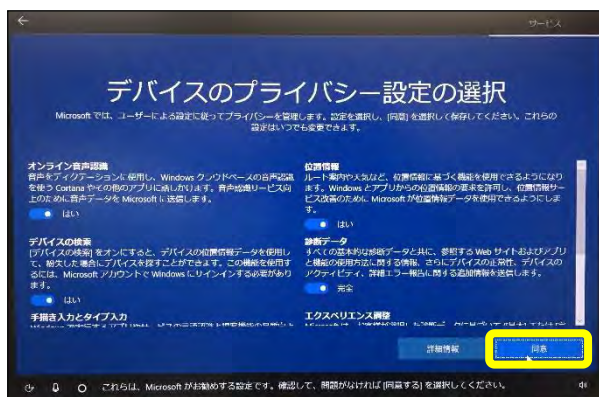
「デジタルアシスタントを利用する」と表示されますので、内容を確認のうえ

【同意】をクリックします。

<手順は15ページに続きます>

【Windowsセットアップ手順⑭～⑮】

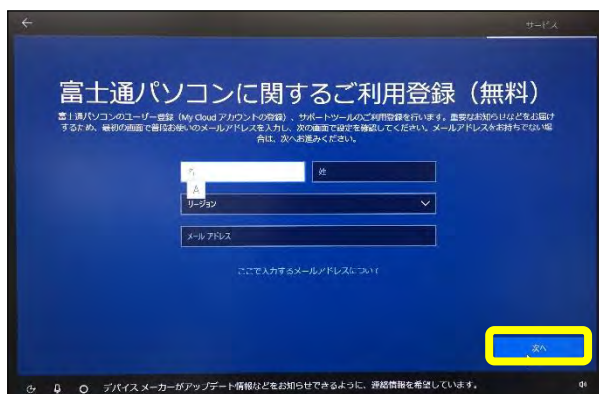
⑭



「デバイスのプライバシー設定の選択」と表示されます。
プライバシーに関連する項目の情報提供について、設定できます。

セットアップ後に変更することもできますので、まずは【同意】をクリックします。

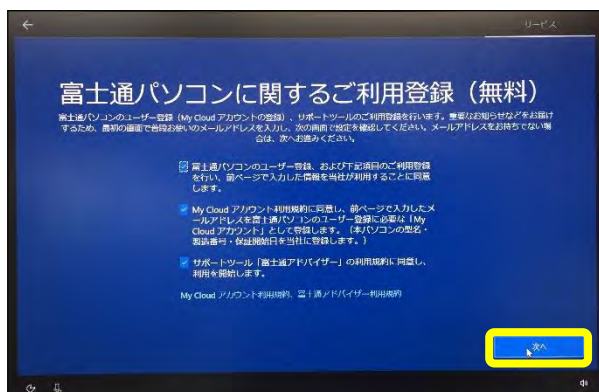
⑮



「富士通サービス&サポートのご利用登録(無料)」と表示されます。

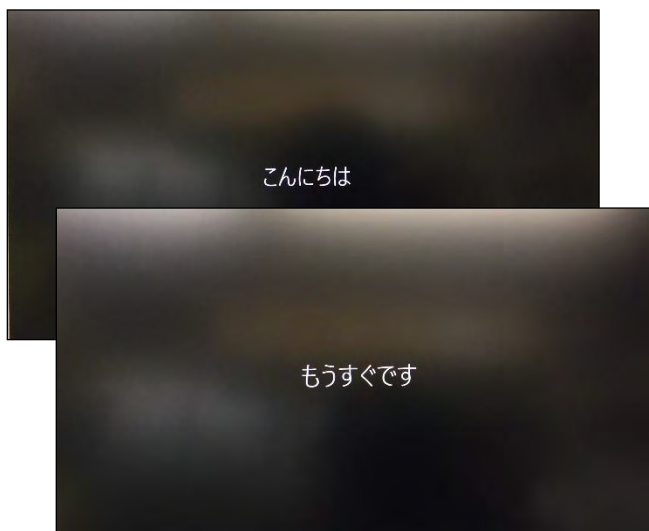
ご利用登録は後程でも可能です。ここでは、何も入力せず、【次へ】をクリックします。

⑯



もう一度「富士通サービス&サポートのご利用登録(無料)」と表示されます。

【次へ】をクリックします。

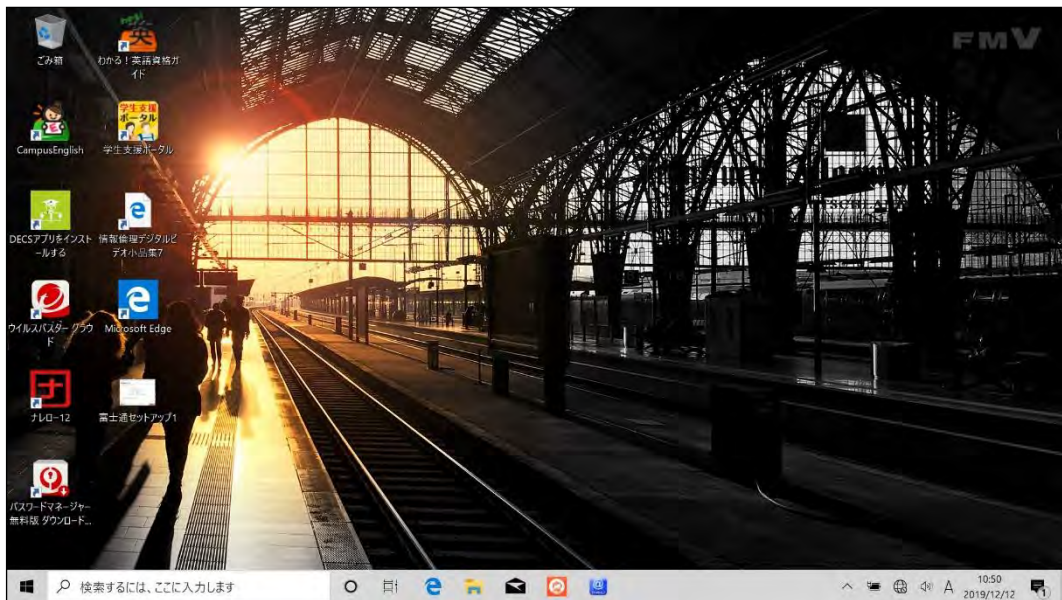


「こんにちは」
「現在準備中です」
「これには数分かかることがあります」
「もうすぐです」
などと表示され、
時々、背景が青色に変わったり、
また黒に戻ったりもします。

なにも操作せずにお待ちください。

<16ページへ続きます>

以上でWindows10が使用できるようになりました。

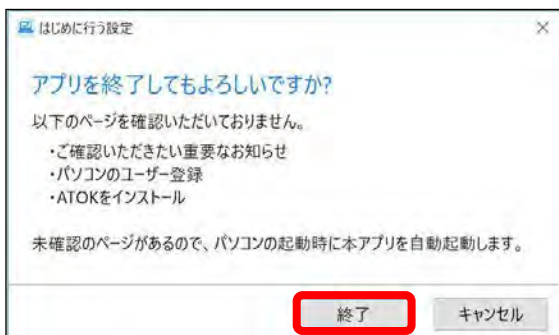


デスクトップ画面が表示されたら、OSのセットアップは終了です。



「ウイルスバスター」のポップアップが表示された場合は、ウイルスバスターの設定は後ほど26ページで行いますので、この時点では「×」をクリックして先へ進んでください。
(ウイルスバスター搭載モデルのみ)

「はじめに行う設定」画面が表示された場合はここでは×をクリックして閉じてください。(こちらは数回出る場合があります。)



その後「アプリを終了してもよろしいですか？」画面が表示したら、【終了】をクリックして閉じてください。

Windows10の主な操作方法について [1]

注: 説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

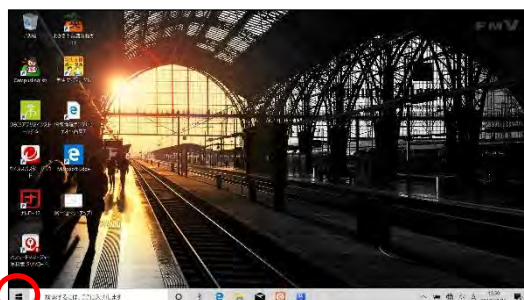
【デスクトップ画面とスタートボタン】

起動後、ログイン画面でパスワードを入力しサインインすると、右のようなデスクトップ画面になります。(起動時にロック画面が表示されログイン画面にならないときは画面を一度クリックしてください。)

デスクトップ画面で左下のスタートボタンをクリックするとスタート画面を表示します。

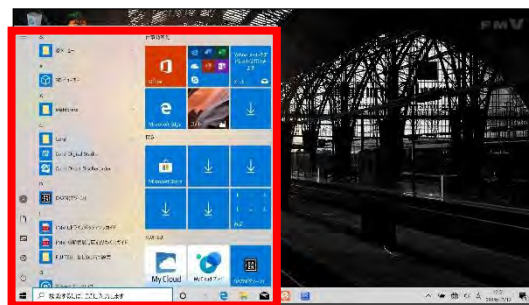


デスクトップ画面



このスタート画面で起動したいアプリを選びクリックして実行します。

スタート画面の右側、大きなアイコン(タイル)の並んだ部分はタイルの追加、削除、並べ替え、タイルの大きさ変更ができます。自分が使いやすいようにタイルの配置換えをしてください。次ページから詳細を説明します。



スタート画面

【インターネットブラウザ「Edge」(エッジ)について】

Windows 10 ではインターネットを見るアプリ(ブラウザ)はEdgeを使います。(従来のWindowsのブラウザは「インターネットエクスプローラ(IE)」でした。)インターネット接続環境が整ったらEdgeを使ってインターネットを利用してください。 ※25ページ37ページにもEdgeの説明があります。

Edgeのアイコン



Edgeのタイル



設定したパスワードを忘れた場合、パソコンが使えなくなり、パソコンの初期化(OSリカバリ)が必要になります。
※パスワードは、変更することも可能です。(21ページ)

Windows10の主な操作方法について [2]

注:説明の図にあるアイコン群は例であり、 お手元のPCの内容と異なる場合があります。

【スタート画面基本操作方法】

スタート画面を表示して、そこに表示されているアイコンやタイルをクリックするとアプリが起動します。

アカウント設定

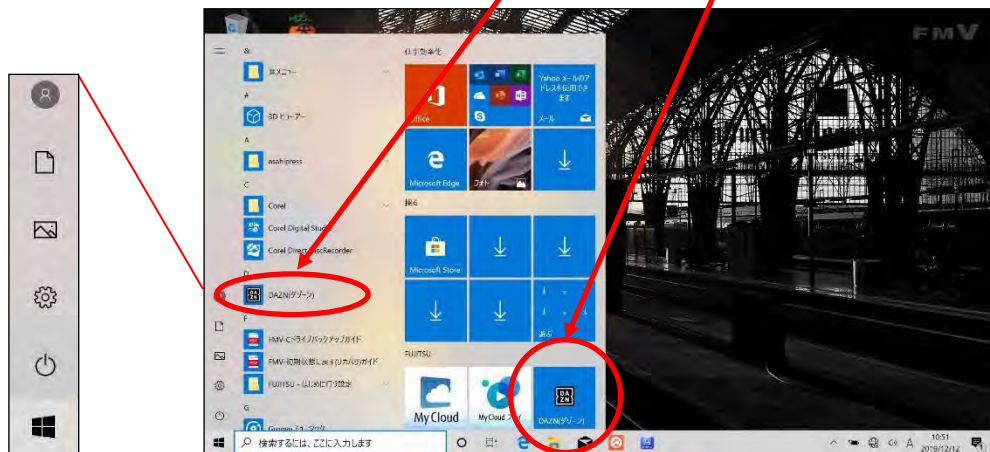
ドキュメント

ピクチャ

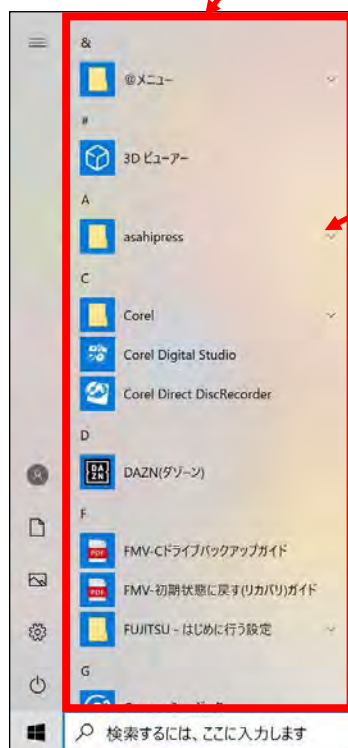
設定

電源

スタート

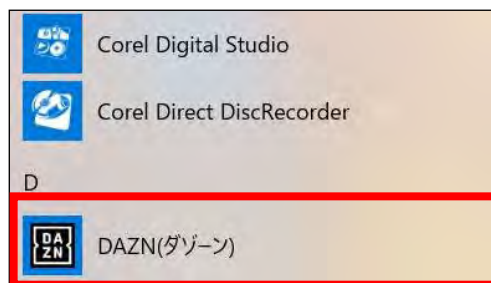


スタート画面の左側は、一番上によく使うアプリのアイコンが表示されその下にはこのパソコンにインストールされているすべてのアプリの一覧が表示されます。



一覧の続きを見る場合は一覧表示画面(左図の白い四角の範囲内)にマウスカーソルを合わせ、画面をスクロールします。(9ページ、指2本のスクロール方法参照)

目的のアプリが見つかったら、アイコンをクリックして起動します。



実行したいアプリのアイコンの絵や文字の部分でクリック

Windows10の主な操作方法について [3]

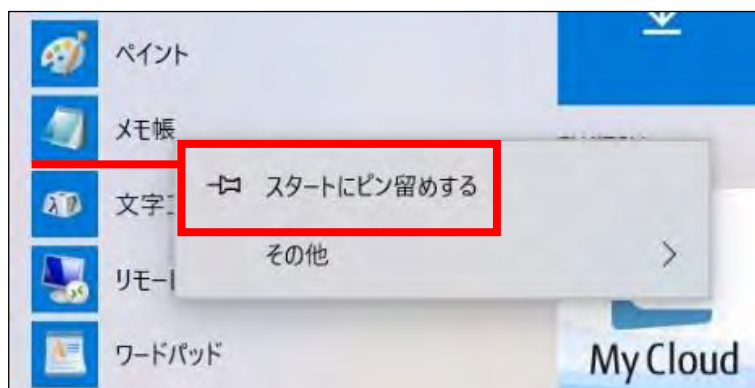
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

【タイル画面のカスタマイズ】

アプリはスタート画面にピン留め(タイルにして貼り付けること)ができます。よく使うアプリはピン留めしておくとう便利です。

～ 例、アプリ「メモ帳」をタイルとしてピン留めします。 ～

※アプリ「メモ帳」は、スタートボタンをクリックして出てくる、「Windowsアクセサリ」というフォルダの中にあります。



一覧画面で目的のアプリ、ここでは「メモ帳」を探し、右クリックします。

表示されたメニューの「スタートにピン留めする」をクリックします。

タイルは位置や大きさを変えたり、不要なものは削除できます。

・位置の変更

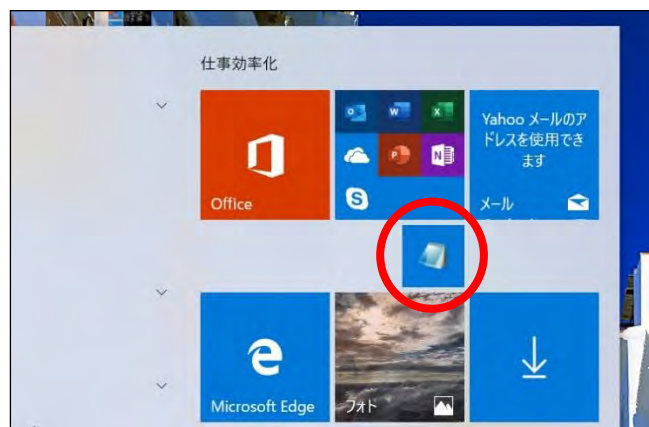
タイルをドラッグ(9ページ参照)してみてください、位置が変更できます。



追加されました。

・大きさの変更

タイルを右クリックします。表示されたメニューで「サイズ変更」の「小」や「中」をクリックします。



メモ帳を小さくして上の方に移動しました。

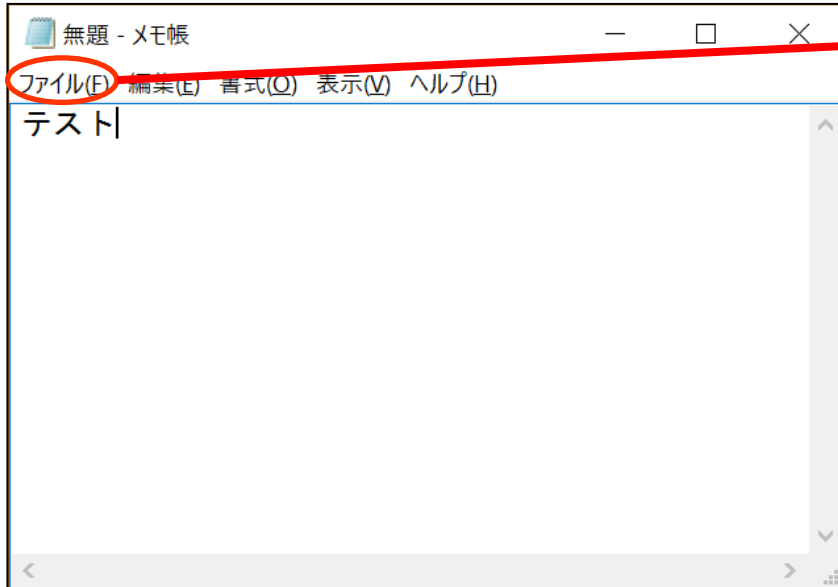
・削除(一覧画面からは削除されません)

タイルを右クリックします。表示されたメニューで「スタートからピン留めを外す」をクリックします。

Windows10の主な操作方法について [4]

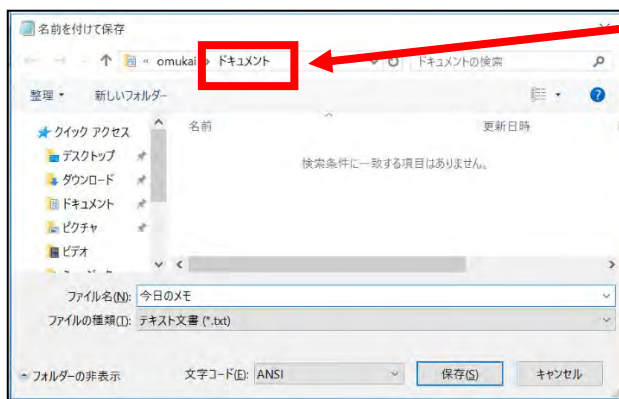
【アプリで作成したファイルの保存と終了】

～アプリ保存の例、メモ帳の場合～



「ファイル(F)」をクリックすると
上から4つ目に
「名前を付けて保存(A)...」が
あるので、クリックすると
左下のような画像が出てきます。

終了時、変更や新しく作ったファイルを保存する場合は「名前をつけて保存」画面になりますがその際、ファイルをどこに保存したかは、下図を参考に意識して覚えておいてください。



ここに注目。ここでは
「ドキュメント」に
保存しています。

後日、保存したファイルを探るときは
「ドキュメント」の中を
探します。

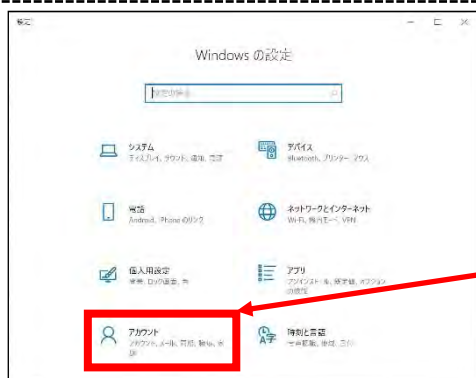
Windowsアプリの終了は画面の右上の×をクリックします。


～アプリの終了～



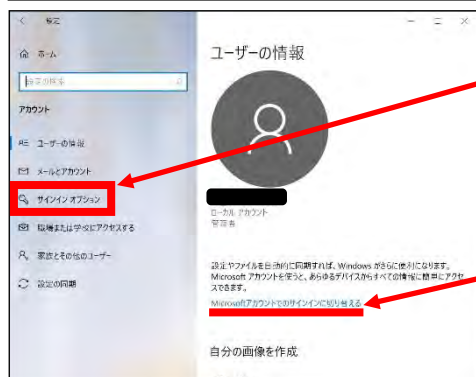
画面右上の×をクリックします

ログインパスワードの変更(設定)方法



スタートボタンをクリックし、その上の「設定」ボタン  をクリックします。

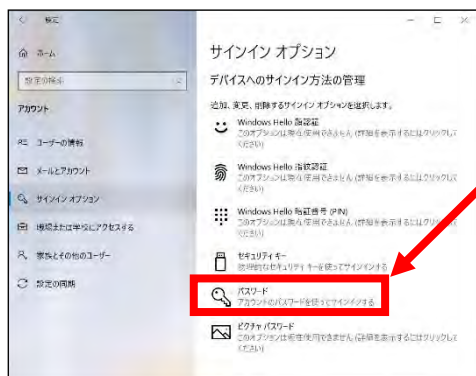
設定画面になりますのでその中の「アカウント」をクリックします。



「サインインオプション」をクリックします。

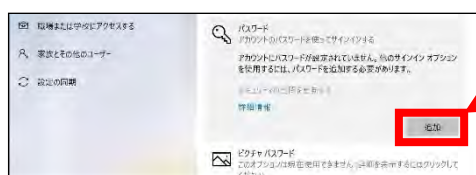
{Microsoftアカウントとの関連付け}

インターネットにつなぎ、「マイクロソフトアカウントに関連付けする」を実行すると、マイクロソフトアカウントが必要なアプリ(OneDriveなど)が使用できるようになります。必要な場合は、セットアップ完了後設定して下さい。

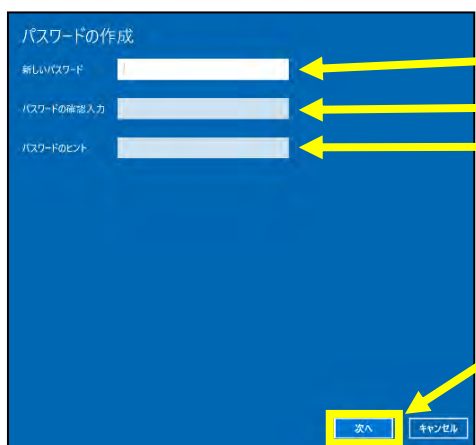


「パスワード」のアイコンをクリックします。

パスワードを初めて設定する場合は「追加」をクリックします。



「変更」の場合は次の画面で現在のパスワードを入力します



①新しいパスワード、
②もう一度、新しいパスワード
③パスワードのヒント
を入力して「次へ」をクリックします。

新しいPass _____.

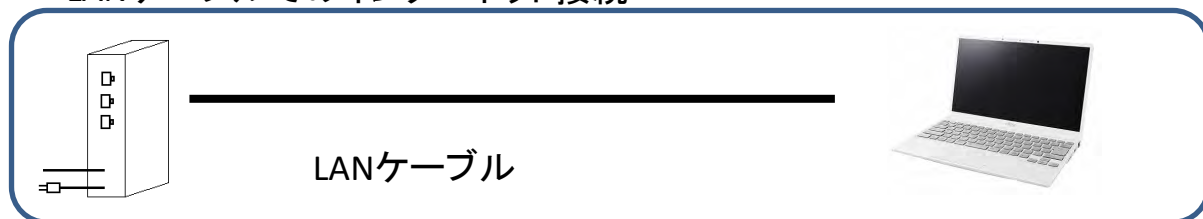
次の画面で「完了」をクリックして終了です。

無線LAN接続について - 1

「無線LAN」(ムセンラン)や「Wi-Fi」(ワイファイ)という機能をご存知でしょうか？パソコンでインターネットを行う時に、前ページの様なLANケーブルを使わずに無線電波で接続する機能です。無線LANには「無線LAN親機」と「無線LAN子機」が必要ですが、現在ほとんどのノートパソコンには(もちろん本機種にも)その子機の機能が内蔵されています。

※無線LANについては42ページ、43ページも参照してください。

LANケーブルでのインターネット接続

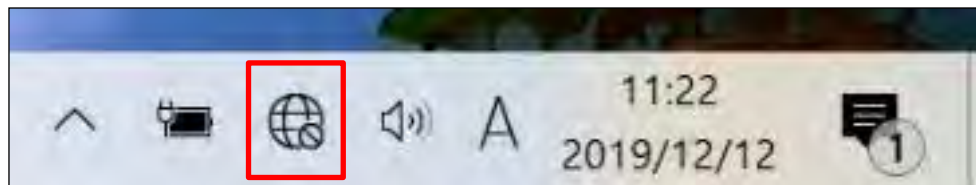



無線LANによるインターネット接続



無線LANを自宅で実施したい場合は、別途、無線LAN親機の購入が必要です。プロバイダからレンタルすることもできます。接続希望の場合はプロバイダにお問い合わせください。

※無線LANは無線電波を使用するため自宅に設置しても、隣近所に電波が飛んでいます。そのため、他人に使われないように無線LAN接続は一般にパスワードを設定しています。パスワードは「アクセスキー」「接続キー」「暗号キー」などメーカー毎に呼び方が違います。
※無線LAN親機には「SSID」(親機の名前)が設定されています。
※SSIDとパスワードがわかれば無線LANは簡単につながります。



※Wi-Fiの設定を開始するときは  のマークをクリックして設定を開始して下さい。

23ページへ進みます。

無線LAN接続について - 2

インターネット(Wi-Fi)接続方法

- ①図のように、現在接続できるアクセスポイントが一覧で表示されます。
- ②接続したいアクセスポイントをクリックすると、図のように「接続」ボタンが出るので、クリックします。※自動的に接続のチェックを入れておくことで、次回以降パスワードの入力手順を省くことができます。
- ③ネットワークセキュリティキー(パスワード)を入力します。
- ④ネットワークセキュリティキー(パスワード)の入力が出来たら「次へ」ボタンをクリックします。
- ⑤「検証し接続しています」と表示されるので、しばらくお待ちください。
- ⑥接続が完了したらアクセスポイント一覧が消え、図のように



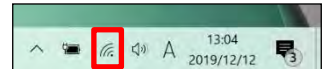
マークが



マークに変わっています。

⑥

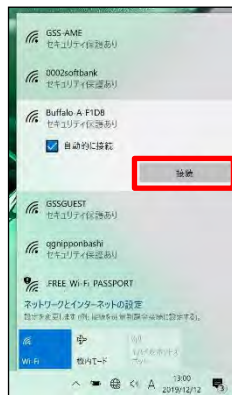
※  マークになっていればインターネット接続完了です。



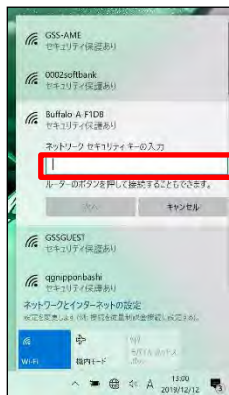
①



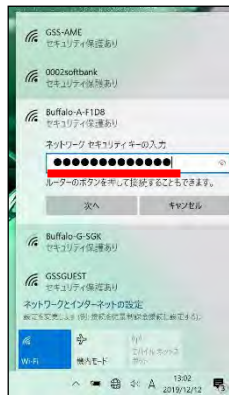
②



③



④



⑤



⑦

セットアップを完了しましょう

ネットワークに接続したので、デバイスのセットアップを完了できます。



インターネットに繋がると、「セットアップを完了しましょう」の画面が表示されます。OKボタンをクリックします。

⑧

Windows をよりいっそう活用できるようになります

これらのサービスは、Microsoft アカウントで稼働します。サービスが利用できるように設定しましょう。



Windows Hello の設定
より速く、より安全にサインインします。



Office 365 を準備する
アプリを起動できる状態にします。



スマートフォンと PC をリンクする
デバイスが同時に動作するのは便利です。



OneDrive を使用してファイルを保護する
バックアップを維持し、いつでもアクセスできるようにします。



デバイス間でより多くのことを行う
よりシームレスな Windows 10 を体験できるようにします。



今はスキップ



Microsoft アカウントに関わる設定画面が表示されますが、今回は「今はスキップ」をクリックします。

※25ページへお進みください。

その他のインターネット接続方法

インターネット接続はさまざまな方法があるため、詳細は契約した接続業者（インターネットサービスプロバイダ）のコールセンターにお尋ねください。また、4ページに記載の「大学生協無料パソコン電話サポート」もご活用ください。

ただ、最近はインターネット用の「LANケーブル」を接続するだけで、設定等は必要なしで接続できるケースが多いので、ここではその例を記載します



用意するもの：LAN（ラン）ケーブル

家電販売店や大学生協に売っています。

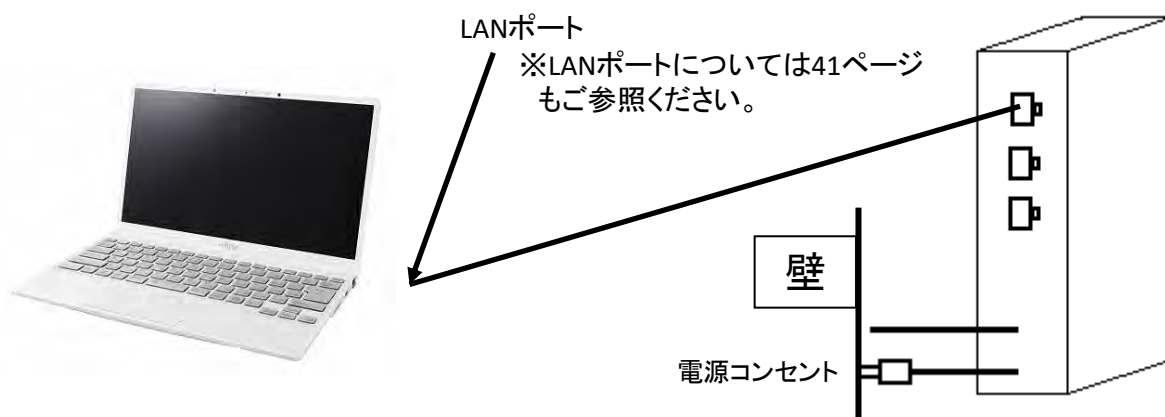
1m、3m、5m、10mなど様々な長さのものが 있습니다。

必要な長さのものを1本用意してください。

接続

プロバイダと契約し、工事が終わると、モデム（またはモデムルータ）という機械を設置してくれています。そのモデムの説明書に従い、モデムの電源を入れてください。

パソコンのLANポートとモデムのLANポートをLANケーブルでつなぎます。モデムのLANポートは機種により複数ある場合、1つの場合もあります。



パソコンの電源を入れブラウザを起動し、インターネットにつながることを確認してみてください。この時「このネットワーク上の他のPCやデバイスが、このPCを検出できるようにしますか？」と表示された場合は「いいえ」をクリックしてください。

※以上でつながらない場合は設定の必要なケースです。プロバイダや大学生協電話サポートに接続方法をお尋ねください。

インターネットブラウザEdgeについて

Windows10 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。

①ここではインターネット接続ができて
いることの確認の意味も込めて
マイクロソフトエッジを起動します。



Edgeのアイコン



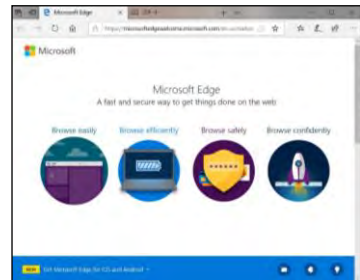
Edgeのタイル

スタート画面やデスクトップ画面
にあるEdgeのアイコンまたは
Edgeのタイルをクリックします



アドレスの領域

マイクロソフトエッジが起動します
左の画面は一例です。パソコンや設定
により初期画面は異なります。)



※上記のような画面が出る場合もあります

検索または Web アドレスを入力

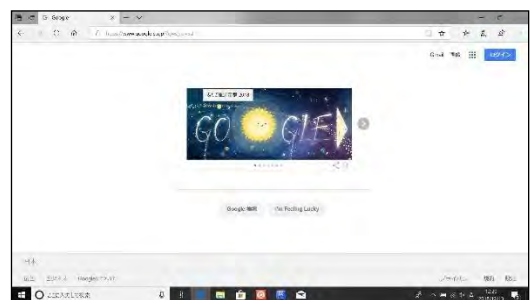
②見たいホームページアドレスを
入力します。

アドレスの領域に見たいアドレス
を入力し、Enter を押します。

たとえば、Googleなら www.google.co.jp と入力し、Enter を押します。



ヒント 表示されている文字を
Backspaceキー等で削除し、空白にして
から新たにアドレスを打ち込みます。



一般にホームページアドレスのhttp://は入力時省略できます。
<http://www.google.co.jp> → www.google.co.jp

37ページも
ご参照ください。

※この章以降では、パソコンがインターネットに接続された環境でセットアップを行ってください。

4. Windows Defenderの設定（有効かを確認）

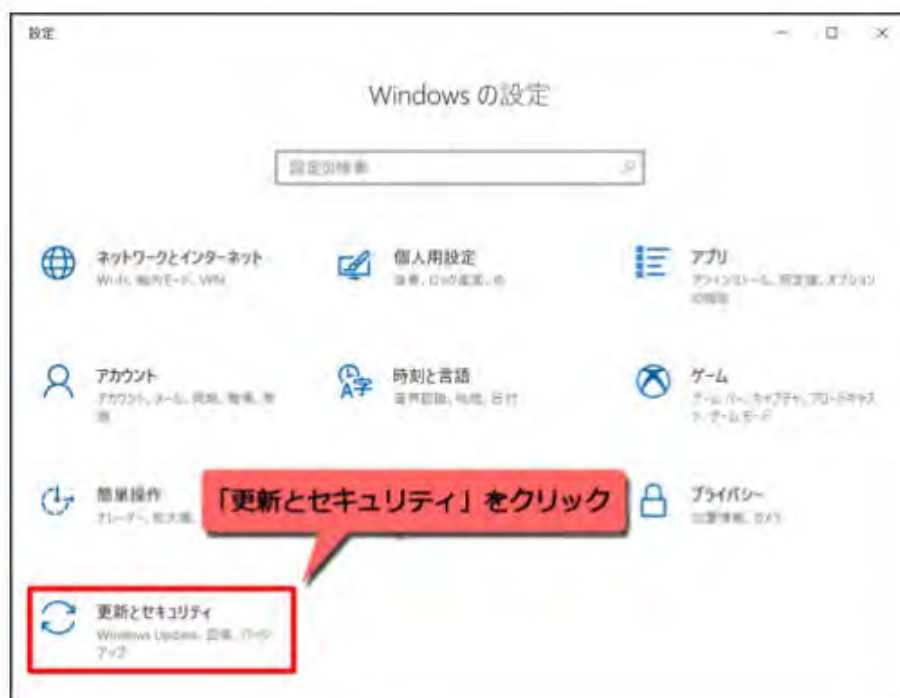
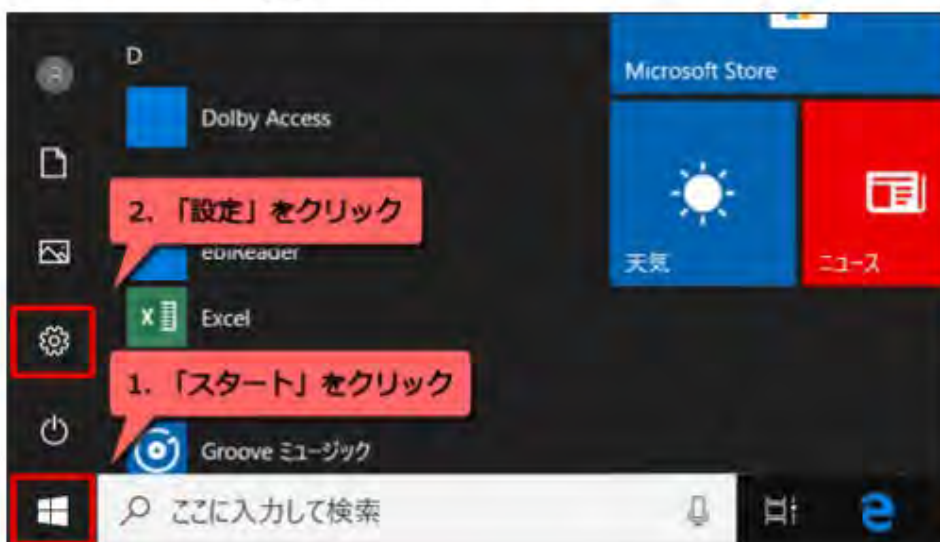
（所要時間 約1分）

Windows 10にはWindows Defenderがあります。ウィルス対策として「有効」に設定されていないと、最新の脅威を防ぐことができません。

インターネットにつながった状態で実行します

Windows 10でWindows Defenderが有効かを確認するには、以下の操作手順を行ってください。

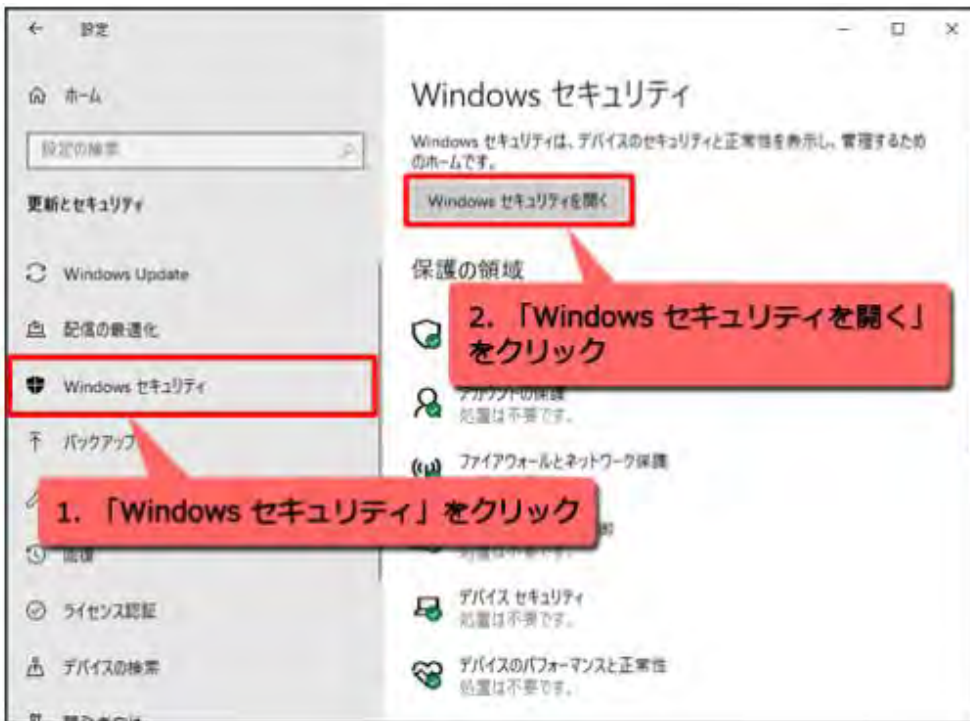
1. 「スタート」→「」（設定）の順にクリックします。



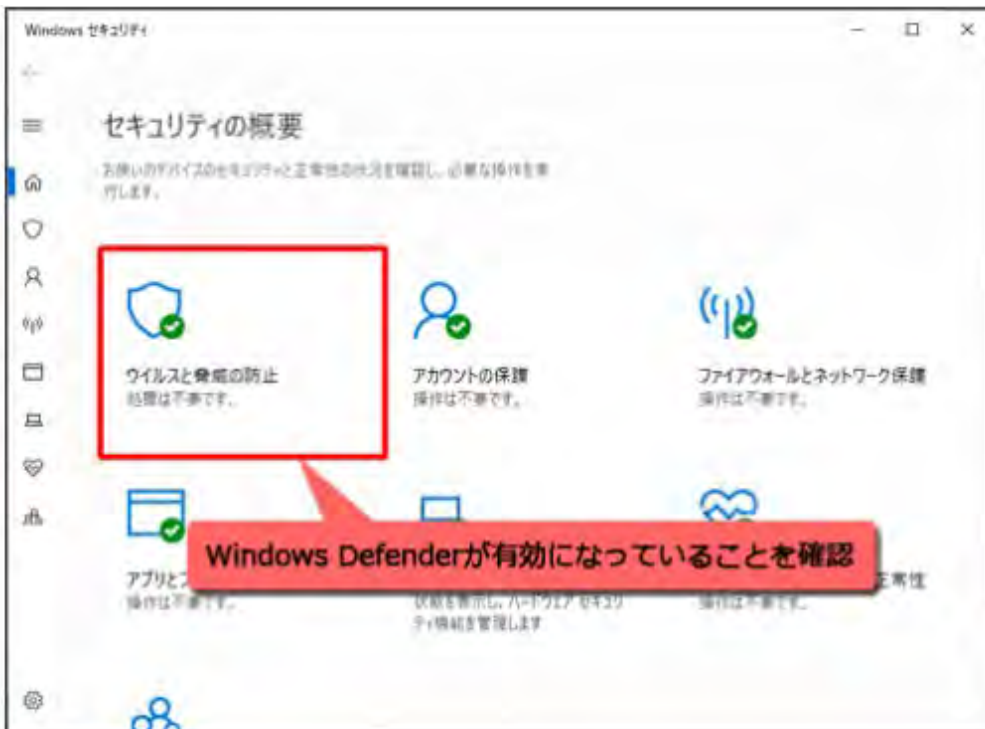
2. 「設定」が表示されます。

「更新とセキュリティ」をクリックします。

3.画面左側から「Windows セキュリティ」をクリックし、「Windows セキュリティを開く」をクリックします。



4.「セキュリティの概要」が表示されます。
以下の画面が表示され、Windows Defenderが有効になっていることを確認します。以上で操作完了です。



補足

Windows Defenderが無効になっている場合、以下の画面が表示されます。「ウイルスと脅威の防止」より、「更新プログラムの読み込み」を行うと、Windows Defenderが有効になります。



【コンピューターウイルスとは】

パソコンに勝手に侵入(感染)し、個人情報を盗んだり、パソコン内のファイルを破壊するなど悪意のあるプログラムです。

【ウイルスの侵入経路】

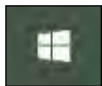
Eメールの添付ファイル、インターネットからダウンロードしたファイル、特定のwebサイト、外部メディア(CD-ROMやUSBメモリなど)

【ウイルス対策方法】

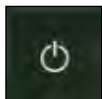
- ・ウイルス対策を常に最新の状態で使用する。
- ・Windows Updateを最新の状態に保つ(32、33ページも参照ください。)
- ・知らないメールや怪しいWebサイトをひらかない。

【シャットダウンの方法】

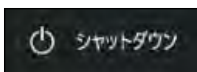
Windows10の終了方法はいくつかありますが、最も基本の方法をご紹介します。



①「スタートボタン」をクリックします。



②「電源ボタン」をクリックします。



③「シャットダウン」をクリックします。

※更新プログラムがある場合、

「更新してシャットダウン」と表示されている場合もあります。

この場合、シャットダウンすると、Windows Updateが開始されます。

32ページ、33ページもご参照ください。

※その後、実際に電源が切れるまで数十秒かかる場合があります。
電源ランプが消えるのを確認してからパソコンの蓋を閉じて下さい。

※上記の方法が基本ですが、スタートボタンの右クリックや
設定により電源ボタンの操作でも電源が切れるように出来ます。

以上でセットアップは完了です。

お疲れさまでした。

次ページからは、

よりパソコンを快適にご利用いただくための
ソフトウェアの紹介や設定方法をご用意いたしました。

5. Windows Update ※よくお読みください

セキュリティを向上させたり、不具合を解消する機能がWindows Updateです。Windows Updateを行わないとトラブルの原因になったり、ウイルスに感染してしまう可能性があります。**【セットアップ手順ではありません】**

Windows10の不具合やセキュリティ上の問題が発見された場合、修正する更新プログラムがインターネット上に公開されます。

この更新プログラムをダウンロードし、Windowsを最新状態に保つのがWindows Updateです。Windows Updateはインターネットにつなぐことにより自動で行われます。

パソコンを購入した際には、メーカーの生産からお手元に届くまでの間に修正プログラムがたまっている為、必ずWindows Updateを行って最新の状態にする必要があります。

注意

Windows Updateはインターネットに接続することにより自動で行われます。言い換えれば、ネットにつながないとUpdateは行われず。最新の状態に保てません。普段ネットにつながない方も定期的につなぐように心がけてください。アップデートは、電源ケーブルを接続した状態で行ってください。

Windows Updateとは？

Windows Updateとはインターネットを通じてWindowsやOffice製品（WordやExcelなど）の発売後に見つかった問題を修正したり、新しい機能を追加する作業のことです。

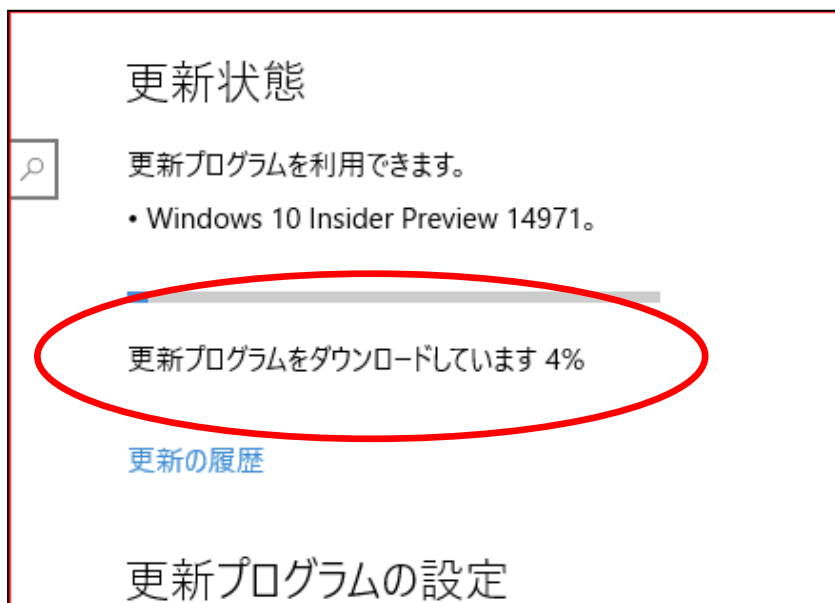
他にもウイルスが忍び込むセキュリティホール（セキュリティの欠陥）をなくし、悪質な攻撃に負けないように、強化することもWindows Updateでは行われます。

通常はWindows Updateの自動更新が有効になっているので、定期的に更新されるようになっています。とても便利な機能ですが、更新中はパソコンが少々遅くなったり、パソコンの再起動が必要な場合もあり、面倒に感じることもあります。

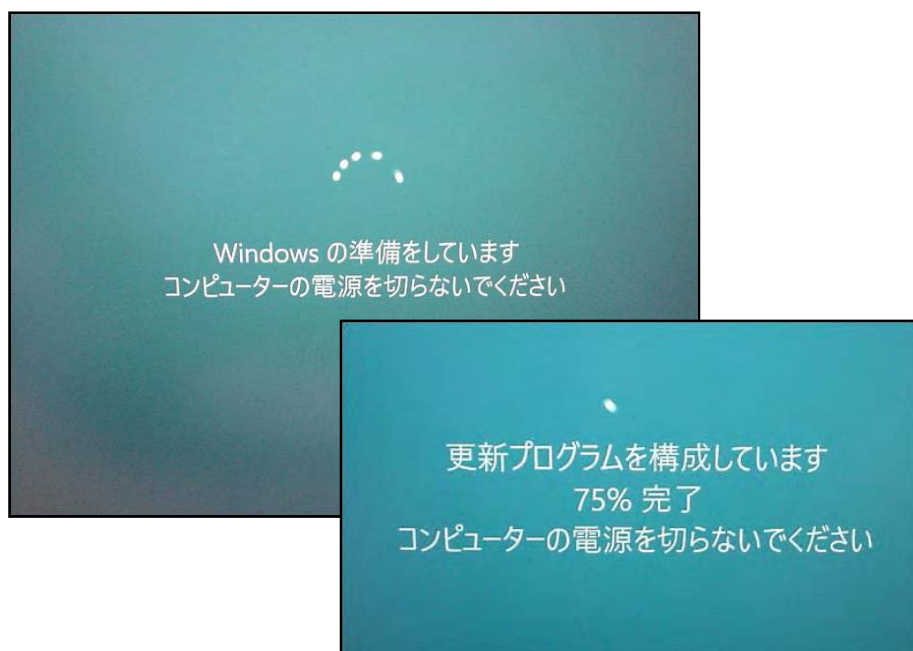
しかし、Updateをせずに使い続けると、不具合が修正されなかったり、セキュリティの欠陥が残ってしまうなど、とても危険です。

**パソコンを安全に使い続ける為には、
常に最新の状態にしましょう！**

Windows Update更新中の注意



Windows Updateのダウンロード中やインストール中はパソコン全体の動作が遅くなります。異常ではありませんので、そのままご使用ください。



Windows Updateを行った後、Windowsのシャットダウンが左のような画面になり、通常以上の時間が(10分~30分以上)かかることがあります。それはパソコンがUpdate後の再設定をおこなっていますのでその際は電源を無理やり切らずに自然にシャットダウンされるのを待ってください。

※異常状態が長く続くとき(20分以上画面が変わらない等)は電話サポートにお問い合わせください。

6. 活用編

ここからは付属アプリの紹介や周辺機器の説明、パソコン用語などについて記載します。

付属アプリについて

大学生協オリジナルパソコンには、大学生にとって必要な学習コンテンツがあらかじめ搭載されています。各コンテンツは、先輩の声を基にそれぞれの分野のプロフェッショナル企業が大学生のために厳選しました。英語学習から情報リテラシー、マイクロソフトオフィス活用法、就職活動対策までの学習内容をぜひご利用ください。パソコンサポート案内も掲載していますので、万一の故障の際も安心です。



まず最初に、「学生支援ポータル」を起動してみてください。学生生活に必要な情報のリンクやパソコン修理の説明、付属ソフトの説明等が見られます



これら付属ソフトのアイコンがデスクトップにあります。それぞれ起動して楽しんでください。



※「情報倫理」のアイコンはeのマーク  になっている場合があります。



付属アプリについての詳しい説明は冊子「学生支援ポータルガイドブック」をご覧ください。

●ナレロー

大学生協オリジナルモデルパソコンにはパソコンの基本操作の学習ソフトの「ナレロー12」が入っています。

「ナレロー12」の使用には「ライセンス認証」を行う必要があります。また、Officeを使用する科目では、Microsoft Officeのインストール(別冊参照)が必要です。

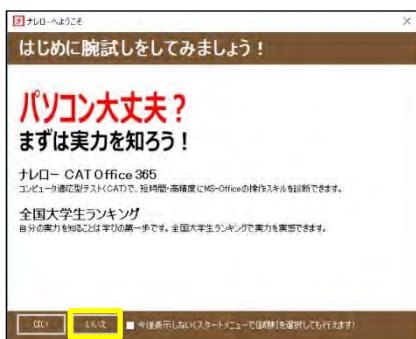
ライセンス認証には購入時の添付品にある「ライセンスカード」が必要です。ライセンスカードは紛失しないように大切に保管しましょう。



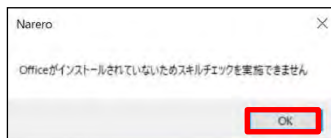
注:説明の図にあるアイコン群は例であり、お手元のPCの内容と異なります。



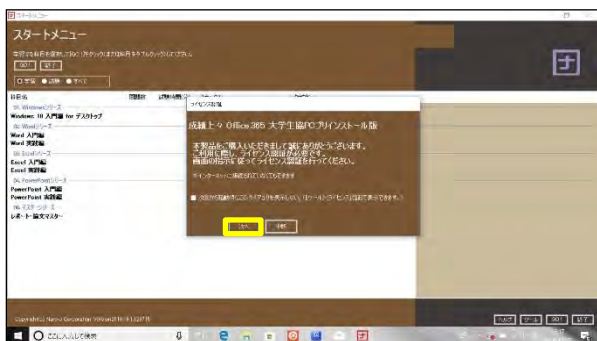
ライセンスカード
デスクトップの左側にある【ナレロー12】をダブルクリックします。



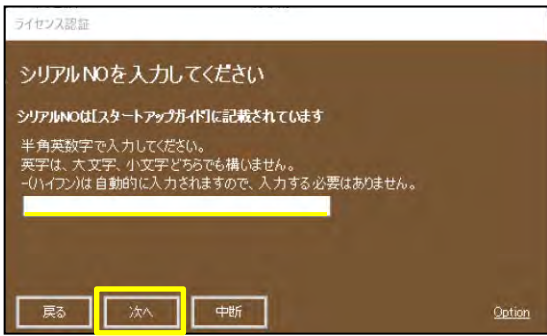
「はじめに腕試しをしてみましょう！」と出ますが「いいえ」をクリックして先に進みます。



※Officeがまだインストールされていない場合は、「はい」をクリックすると、左図のメッセージが出る場合がありますが「OK」をクリックして進んで下さい。



左のように「成績上々Office365大学生協PCプリインストール版」というウィンドウが出ますので「次へ」をクリックして先に進みます。



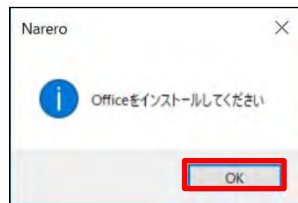
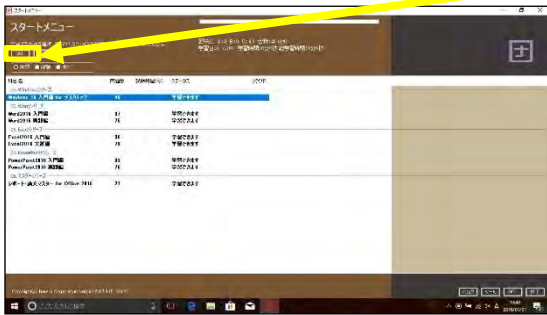
ライセンスカードに記載のシリアルNo.を入力して、「次へ」をクリックします。

『ユーザーアカウント制御』というタイトルで、「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」というメッセージボックスが出てくるので「はい」をクリックして下さい。

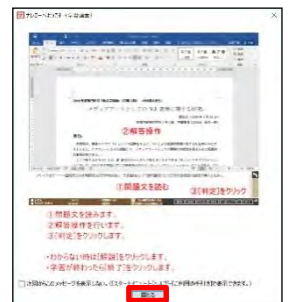
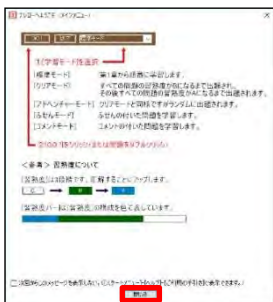


左のようなウィンドウが出ますので、「OK」をクリックして次へ進みます。

学習する科目をクリックし「GO」ボタンをクリックします。
※Officeをインストールしていない場合、「01.Windowsシリーズ」以外の科目をクリックすると



と出るので「OK」をクリックして次へ進みます。



上記のウィンドが表示されますので、「閉じる」⇒「GO!」⇒「閉じる」をクリックして進めます。



問題が表示されます。回答で来たら右下のボタン群の「判定」ボタンをクリックして下さい。終了するときは画面右下の「終了」をクリックして下さい。

●インターネットブラウザ「Edge」の設定

Windows10 でインターネットを見るときはEdge(エッジ)を使用します。



Edge(エッジ)

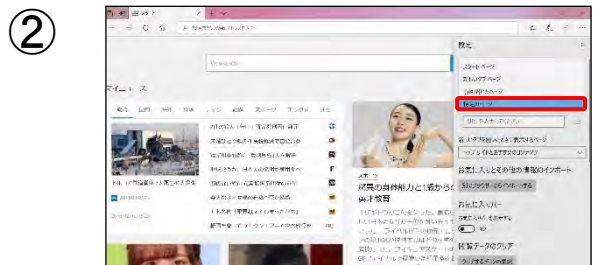
Edgeを起動した時に、最初に表示されるWebページは変更できます。
例として、Googleに変更する方法を紹介します。

Googleホームページ : www.google.co.jp

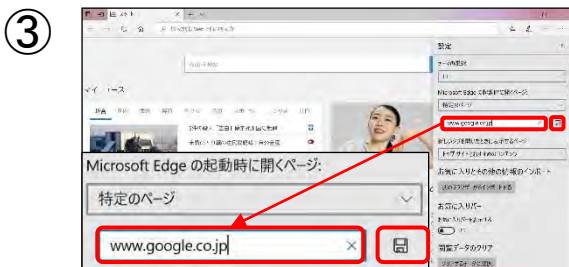
【変更手順】 Edgeを起動し、設定画面で設定変更します。



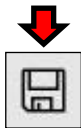
① 画面右上の「...」をクリックして出てきたメニューの「設定」を選択してください



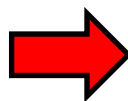
② 「Microsoft Edgeの起動時に開くページ:」下のボックス右側の「V」をクリックして「特定のページ」を選択してください。



③ 出てきたボックスの中にGoogleホームページのURL「www.google.co.jp」を入力し、右横の保存マークをクリックして下さい。



次回、Edgeを起動するとGoogleが表示されます。



④ 上記のようにGoogleホームページのURLが登録されていることを確認し、画面右上「...」をクリックして終了します。



複数ページの起動登録もできます。よく使うページを登録してみましょう。

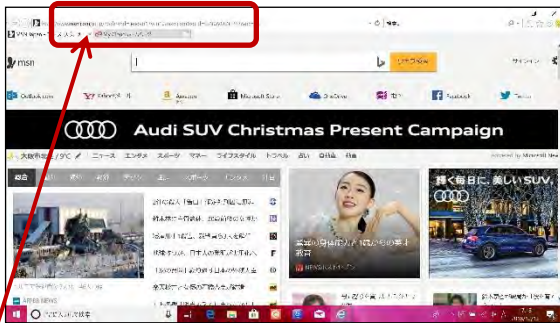
●ブラウザ「インターネットエクスプローラ(IE)」について

インターネットのホームページによってはEdgeでは正しく表示できず、旧来のインターネットブラウザである「IE」が必要になることがあります。Windows10で「IE」を利用する方法を簡単に記載します。

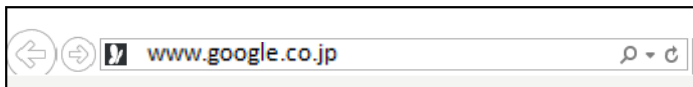
スタートボタンを押し、アプリ一覧画面をスクロールし、「Windows アクセサリ」をクリックするとそこに「Internet Explorer」があります。



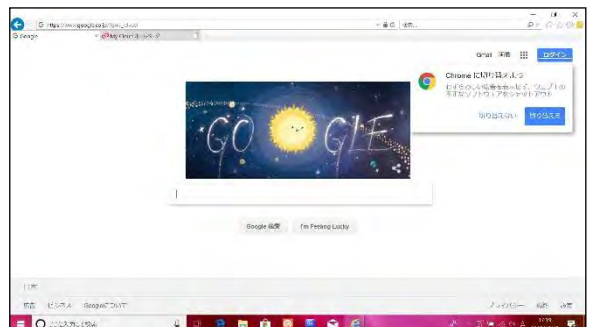
Internet Explorerをクリックするとブラウザ(IE)が起動します。



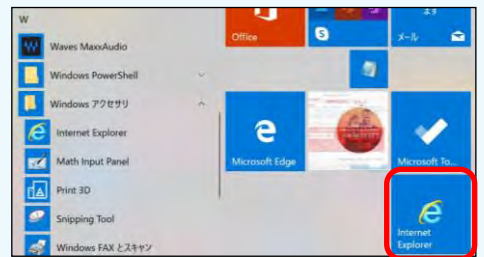
IEのアドレス欄に目的のホームページアドレスを入力し、Enterキーを押します。



Googleなら「www.google.co.jp」と入力



頻りにIEを起動する場合はスタート画面にタイルとしてピン留めすると便利です。



IEを、最初に起動したとき以下の画面が表示されるときがあります。その場合は上側のお勧めの設定を使うにチェックしOKをクリックしてください。



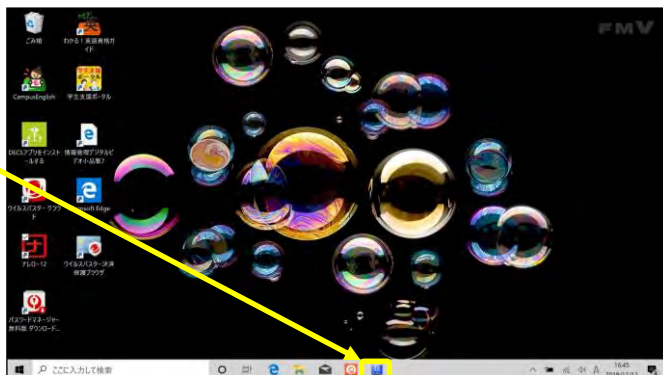
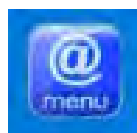
ATOK 設定(インストール)方法 (1)

文字入力ソフト「ATOK」を活用するための設定方法をご紹介します。

注: 説明の図にある背景やアイコン群は例であり、お手元のPCと異なる場合があります。

1.画面下のタスクバーに「@menu」というアイコンがあるのでそれをクリックして起動します。

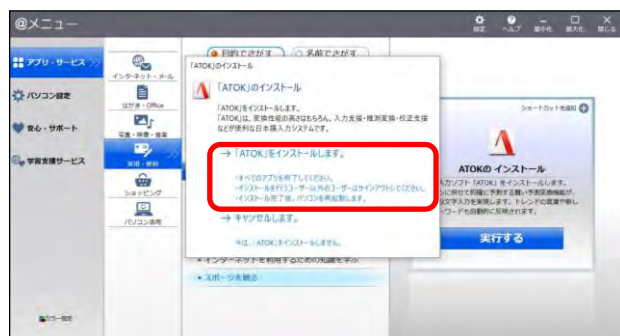
※初期設定ではデスクトップ画面はランダムに切り替わります。



2.「@メニュー」というタイトルの画面が開きますので、「アプリ・サービス」、「実用・便利」、「賢い文字予測変換で文字入力を快適にする」の順にクリックしていくと「ATOKのインストール」という表示が画面右側にでてくるので、「実行する」ボタンをクリックしてください。



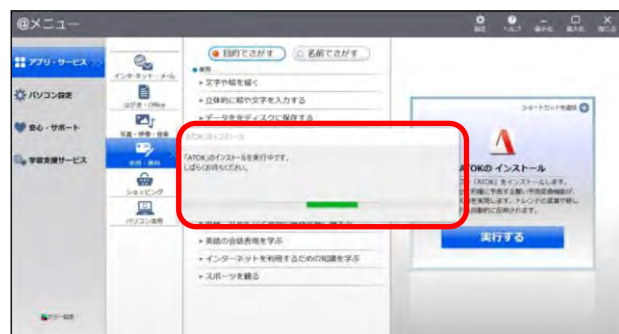
3.「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか?」というタイトルの画面が表示されるので「はい」をクリックすると右画面となりますので→「ATOK」をインストールします。をクリック、次の手順へ進みます。



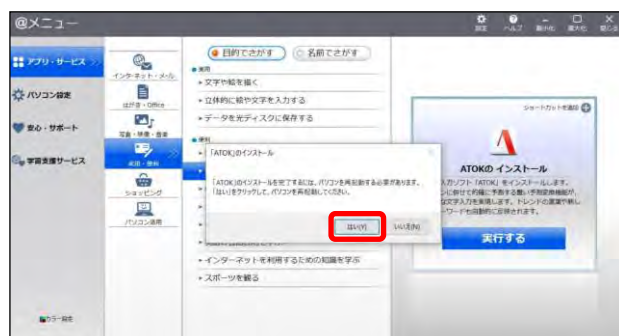
<次のページへ>

ATOK 設定(インストール)方法 (2)

4.「ATOKのインストールを実行中です。」の画面が表示されますので、完了までしばらくお待ちください。



5. インストールが完了すると、「再起動」を行うかの確認の画面が表示されるので、「はい」をクリックして再起動を行ってください。



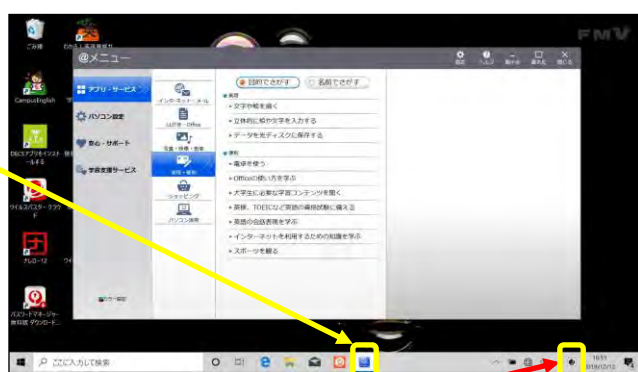
※右のようなウィンドウが表示される場合は、「×」ボタンや「終了」ボタンなどでウィンドウを閉じても問題ありません。



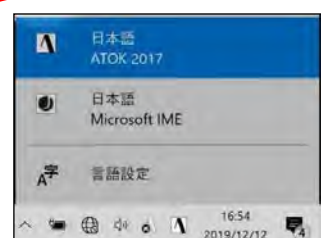
6.再起動完了後、画面下のタスクバーに「@menu」が有るのでそれをクリックして起動します。



「@メニュー」のタイトルの画面で「アプリ・サービス」、「実用・便利」の順で選択し、手順2で表示されていた「賢い文字予測変換で文字入力を快適にする」の表示がなければインストール完了です。



※タスクバー右側の言語ツールアイコンから日本語入力システムの切り替えが可能です。

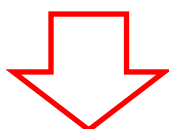


●LANポート、USBポートについて

パソコンにはいくつか種類の異なる、差込口(ポート)があります。
それぞれ用途によって使い分けます。

LANコネクタ(ポート)

LANコネクタは本体右側面の奥にあります。
本機種のLANコネクタは引き出し式になっています。
まずコネクタの下の隙間に爪を入れて引っ張り出します。
コネクタが十分に出てきたら、先端を持ち上げるとLANコネクタの完成です。



【右側面】



HDMIポート、USB type-Cポート、USB3.0ポート 【左側面】



- ① USB3.1(GEN2) Type-Cコネクタ ... SuperSpeed+(転送速度:10Gbps)
/USB Power Delivery対応
- ② USB3.1(GEN1) Type-Cコネクタ ... SuperSpeed(転送速度5Gbps)
- ③ HDMI出力端子
- ④ USB3.0 Type-Aコネクタ(電源オフUSB充電機能対応)

●USB機器を使おう！

USBメモリやUSB HDDを使ってみましょう。USB機器はセットアップ済みパソコンのUSBポートへ挿すだけで自動認識してすぐに使えます。



□USBメモリ



□USB HDD


USBメモリやUSB HDDは「外部ストレージ」とも言い、データのバックアップや受け渡しに手軽で便利です。ただし、小さなものなので、なくしたり壊したりしないように注意しましょう。特に個人情報が含まれるデータを保存する際は紛失に注意です。(パスワードで保護できる機種もあります)

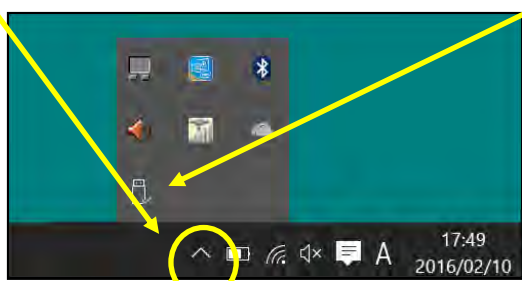
注意

外部ストレージを外すときは注意が必要です！

接続はこんなに簡単なUSB機器ですが、外すときは注意が必要です。必ず次の手順を踏んで外して下さい。

例、「USB Mass Storage Device」という名前のUSBメモリの取り出し方法

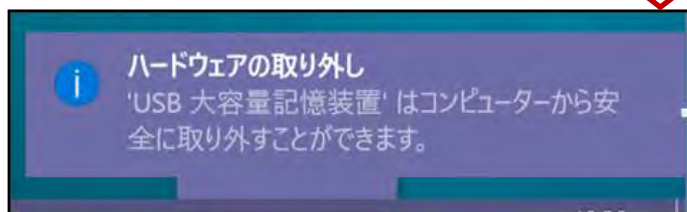
へをクリックし、表示されたアイコンから  を探しクリックします。



を探しクリックします。



「USB Mass Storage Device の取り出し」をクリックします。



上図のメッセージが表示されてから、USBメモリを取り外して下さい。

【活用編】バックアップの必要性

パソコンの保存データのバックアップについて簡単に説明します。

【バックアップの必要性】

パソコンは人が作った機械です。必ずいつかは壊れます。
また、取り扱いや運が悪いと短期間で故障することもあります。

パソコンが故障してしまったときには、保存されていたファイルが壊れたり修理に出した際にデータが「全て消去」される場合が多々あります。

また、うっかりミスで大事なデータを消してしまったり、悪意でデータを消してしまう「コンピュータウイルス」にかかることもあります。
そのような時の為に、大事なデータは定期的に「バックアップ」をして下さい。

【バックアップの基本】

基本は「パソコンが壊れて自分が苦労して作ったデータが消えてなくなることを防ぐこと」です。原則は「大事なデータは2か所に保存」(パソコンと外部ストレージの2か所に保存が基本)です。

理由は「二つの機械が同時に壊れることはまずない」からです。

【バックアップ方法】

「バックアップ」は難しいことではありません。上記の基本を参考に、大事なデータをUSBにつないだ外部ストレージや下記の光学ディスクにも保存してください。それだけで完了です。

【バックアップの時期】

毎月始め等、定期的に計画して行いましょう。

また、大事なレポート作成中は随時(毎日、毎時、休憩毎)に実施。

【バックアップに必要な機器(別途購入が必要)】

① 外付けハードディスク(HDD)

最近では、「小型」で「大容量」のUSB接続のHDDも多く販売されています。USBポートに差込むだけで、簡単に使えます。



② USBメモリ

USBメモリも、USBポートに差込むだけで使えます。小型ですので持ち運びにも便利です。HDDより小容量です。



③ 外付ドライブとCD-RやDVD-Rなどの光学ディスク

CD-RやDVD-Rなどのディスクに保存も出来ます。ディスクなどメディア自体は安価です。



●用語集(五十音順)

◆ アップデート

ソフトウェアの小規模な更新、改善、修正、機能追加などのことを呼びます。
大規模な更新の場合はアップグレードと呼びます。

◆ アプリケーションソフト、アプリ

文書の作成、数値計算など、ある特定の目的のために設計されたソフトウェアのことを呼びます。

◆ インストール

パソコンでアプリケーションソフト(Wordやメールソフト等)が使用できるように設定する為の作業です。

◆ シリアル番号

ハードウェアのメーカー側で所有者の管理や偽装を防止するなどの目的で製品ごとに割り当てた番号。修理に出したり、ユーザー登録時に必要になります。

◆ ソフトウェア

OSとアプリケーションソフト等のプログラムの総称をソフトウェアと呼びます。
例: OS(Windows、Mac等)
アプリケーションソフト(Word、Edge、ウイルスバスター等)

◆ ダウンロード

インターネット上からファイル(文章、音楽、画像等)をパソコン上に保存する作業です。

◆ スタート画面

パソコンのスタートボタンクリック後に表示される基本となる操作画面です。

スタート画面



◆ バックアップ

パソコンの中のデータをUSBメモリや外付けHDD等にコピーを行う作業です。
パソコンの故障や操作ミスによってデータが消えてしまった時の為に行います。
バックアップ例: 文書、写真、音楽、メール、インターネットのお気に入り等

◆ ハードウェア

パソコンを構成している部品や周辺機器等の総称をハードウェアと呼びます。
例: HDD、メモリ、キーボード、マウス、ディスプレイ、プリンタ、iPod等

◆ プロダクトキー

ソフトウェアのメーカー側でユーザ管理やソフトウェアの不正コピー防止のために発行している番号。ソフトウェアのインストール時やユーザー登録時に使用する。

◆ メモリ

データの保存場所であるHDDから、データを処理するCPUに渡すデータを一時的に置いておくための部品です。
メモリの容量が大きいと一度にたくさんのアプリケーションソフト(Word、ブラウザ等)を使用できたり、動作がスムーズになります。



ノートパソコン用のメモリ

◆ ライセンス

ソフトウェアを購入した際にソフトウェアを使用する権利のこと。

◆ リカバリ(初期化)

パソコンを購入時の状態に戻す作業です。
パソコンが起動しなくなった際などに行います。

◆ ログイン/ログオフ

ログインはパソコンを利用したり、ホームページ内のサービスを利用する際にIDとパスワードを入力して認証をする作業です。
ログオフはパソコンやサービスの利用を終了する際に行う作業です。

◆ CPU(シーピーユー)

パソコン全体の処理・計算を行う、頭脳と言える部品です。
CPUが良いものであるほど、コンピュータは複雑で多くの処理を速く安定して行えます。

◆ HDD(ハードディスク)

パソコンの中でデータの読み書きを行う装置になります。
容量が多ければ多いほどたくさんのデータを書き込むことができます。

◆ SSD(エスエスディ)

HDD同様データの読み書きを行う装置になります。
SSDはHDDの機構部分をなくし、電子部品で構成された装置でHDDに比べ高速で消費電力が少ない特徴があります。

◆ LAN

ケーブルや無線などを使って、同じ建物の中にあるコンピュータや通信機器、プリンタなどを接続し、データをやり取りするネットワークです。

◆ OS(オペレーティングシステム)

WindowsやMac等の主にパソコンのソフトウェアやハードウェアを管理する機能になります。

◆ Wi-Fi(ワイファイ)

無線LANの規格のひとつ。
最近ではWi-Fi=無線LANといった意味で使われることが多いようです。

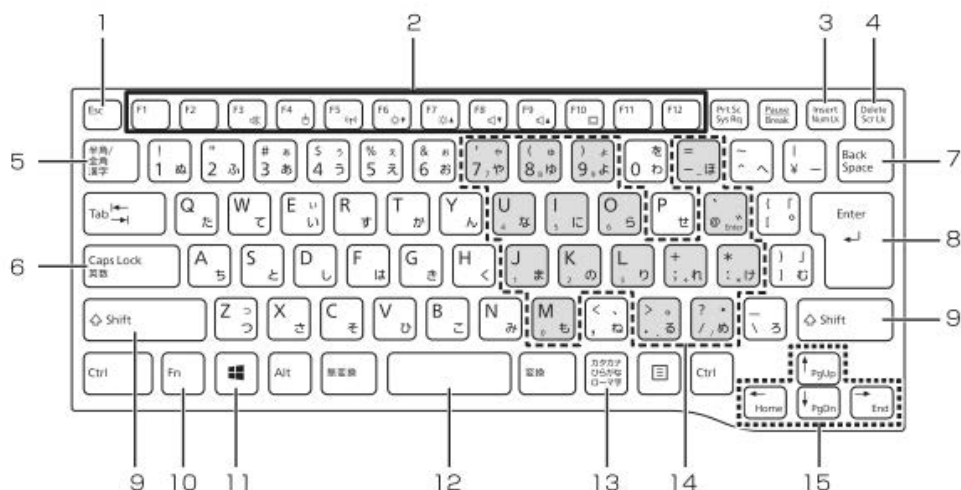
◆ 32bitと64bit

まずbit(ビット)とはパソコンで扱う情報量の最小単位です。
bitの単位が大きい方がよりCPUで多くの情報量を処理することができます。
※古いWindowsでは「32bit(ビット)」を使用していましたが、最近のパソコンは「64bit(ビット)」に切り替わりました、その為、以下の注意点があります。

・互換性の違い

一般に32 bit(ビット)用アプリケーションと64 bit(ビット)アプリケーションは互換性がありません。
古いアプリケーションソフトには32 bit(ビット)のみ対応の場合があり、Windows対応と記載されていても最近の64 bit(ビット) Windowsでは動作しないアプリケーションソフトがあります。
古いアプリケーションソフトをインストールする場合は64 bit(ビット)に対応しているか確認する必要があります。

●各種キーについて



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。青い刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらそのキーを押して使います。

3 Num Lk キー

[Num Lk] を押すと、テンキーモードになります。もう一度押すと解除されます。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 半角/全角キー

キーを押すごとに、半角入力/全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

6 Caps Lock キー

[Shift] を押しながら **[Caps Lock]** を押して、英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

7 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

8 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

9 Shift キー

[Shift] を押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

11 Windows キー

スタート画面を表示したいときに押します。

12 空白 (Space) キー

文字を入力するときに、空白 (スペース) を入力します。

10 Fn キー

[Fn] を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

[Fn] + [F3] 音声出力の ON/OFF を切り替えます。

[Fn] + [F4] フラットポイントの有効/無効を切り替えます。

[Fn] + [F5] **[Web]** [「補足情報」](#)
本パソコンの内蔵アンテナを使用する無線通信機能の電波の発信/停止を切り替えます。

[Fn] + [F6] 画面を暗くします。

[Fn] + [F7] 画面を明るくします。

[Fn] + [F8] 音量を小さくします。

[Fn] + [F9] 音量を大きくします。

[Fn] + [F10] 外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。

[Fn] + [←/Home] カーソルを行の最初に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [←/Home] 文章の最初に移動します。

[Fn] + [↑/Pg Up] 前の画面に切り替えます。

[Fn] + [↓/Pg Dn] 次の画面に切り替えます。

[Fn] + [→/End] カーソルを行の最後に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [→/End] 文章の最後に移動します。

[Fn] + [PrtSc] 表示されている画面をコピーします。

13 カタカナ/ひらがなキー

[Alt] を押しながら **[カタカナ/ひらがな]** (カタカナ/ひらがな) を押して、ローマ字入力/ひらがな入力を切り替えます。

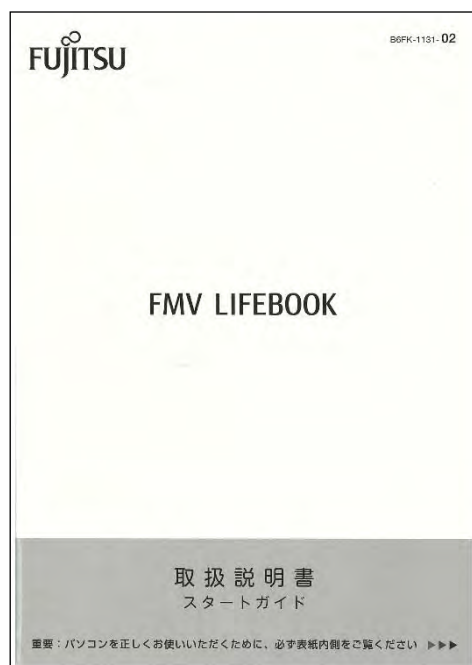
14 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

15 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

● セットアップが終わったら・・・



セットアップが終わったら、「取扱説明書」の「安全上のご注意」や「取り扱い上のご注意」などに目を通しておきましょう。

パソコンの正しい取り扱い方が身につきます。

